

2015/8/20

---

## 「モダニズムへの道程——写真雑誌『白陽』にみる構成派の表現」展開催のお知らせ

大正期の写真雑誌『白陽』は、神戸で写真館を営み写真家として活動していた淵上白陽（1889～1960）が発刊していた芸術写真誌です。刊行期間は1922年から26年の5年間でしたが、増刊号を含めて、現在43冊が確認されています。当初はピクトリアリズムの芸術写真をおもに所載していましたが、1923年の関東大震災以後、被写体を画面上で幾何学的に表現する〈構成派〉と称されるモダニズムの表現を志向するようになってゆきます。その意味で『白陽』は、芸術写真の近代化への道程を表しているといえるでしょう。掲載された精緻なコロタイプ刷り図版は、オリジナル・プリントとして世界的に認知されており、日本のコロタイプ技術が、銀塩プリントやフォトグラビア印刷と同等の写真プリント技法として成立していたことを証明しています。

本展では、約90年前、『白陽』が構成派の表現を志向していった時代に掲載されたオリジナルのコロタイプ・プリント約20点を額装展示します。淵上白陽をはじめとする芸術写真家たちの冒険心を、日本のコロタイプ技術が支えていたことを確認してもらえれば幸いです。



【場所】 便利堂コロタイプギャラリー

〒604-0093 京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町302 株式会社便利堂 京都本社1F

075-231-4351（代表／平日9:00～18:00）

【会期】 2015年9月1日（火）～9月12日（土） ※日曜日休廊

※ギャラリートーク開催 9月12日（土）13:30～ 講師・金子隆一氏（写真史家）

【開廊時間】 11:00～18:00

【入場料】 無料

【お問い合わせ】 株式会社便利堂 営業本部 藤岡篤弘 075-223-8914（直通）

【フェイスブック】 <https://www.facebook.com/benrido.collotype.gallery>